

ほっとサロン虹

通信

2025.9.19

ほっとサロン虹は、がん患者さんやご家族の皆様が病気や暮らしなど
気になること、相談したいことなど、お話ができる場です。

テーマ：がんゲノム医療

講師：がんゲノム医療外来医師 久山 彰一先生



今月のテーマは「がんゲノム医療」について、がんゲノム
医療外来医師の久山彰一先生がお話ししました。

記：医師事務作業補助者
河本 百合子

厚生労働省が発表している死因順位は、1947 年ごろ
は1位 結核、2位 脳血管疾患、3位 心疾患でしたが、現在
はがんが1位となり、2人に1人ががんになる時代だと言
われています。

がん治療のひとつである抗がん剤は、1940 年ごろに
「マスタードガス」という化学兵器をあびた兵士に白血球
の減少がみられたことがきっかけで開発がはじまりました。
このガスが白血病細胞を死滅させる効果を持つことが
分かり、それを改良した「ナイトロジェンマスタード」
などが最初の抗がん剤として登場しました。現在は、がん
細胞のみを攻撃する「分子標的薬」などが開発されて
います。

がんゲノム医療は、分子標的薬の投与前に遺伝子検査
で適合する変異があるかを確認するために患者さんの
がん細胞の遺伝子情報（ゲノム）を詳しく調べ、その情報
に基づいて一人ひとりの体質や病状に合わせた治療を行
う「個別化医療」の一種です。この検査によって、個々の
患者さんに合った薬剤を選択したり、臨床試験に参加し
たりする機会が得られます。保険適用は一部に限ら
れており、標準治療がない、または標準治療が

終了した、希少がん、原発不明がんであるなどの条件を
満たす場合に国が指定したがんゲノム医療提供病院で受
けることができます。標準治療とは、多くの臨床試験に
よって効果と安全性が証明された「現在利用できる最良
の治療」とされている治療法です。

当院は、がんゲノム医療中核拠点病院である岡山大学
病院と連携しております。今回、実際に遺伝子にあった
治療薬で効果のあった患者さんの治療前後の CT 画像を
比較して見せていただくと、がんが小さくなっているのが
よく分かりました。現在の保険診療では対象になるかたが
限られていますが、今後はそれ以外の方も対象になるこ
とが望まれます。

参加されたかたは、「今までの治療を振り返ると
納得できてとても勉強になりました。」と感想を言わ
れていました。

次回のテーマは「化学療法の副作用」です。興味
のあるかたのご参加をお待ちしています。

